



～市民と響き合う議会～

八王子市議会だより

令和4年(2022年)  
第1回定例会

**No.265**

令和4年(2022年)  
5月1日発行

## 令和4年度当初予算案を可決 議会がしっかりチェック!

3月9日には緊急に本会議を開催し、  
ウクライナ侵略に対する決議を全会一致で可決

「ナンジャモンジャの木の下で」  
(片倉城跡公園)

今号は、片倉町在住の  
川幡 文代 さんの作品です。

 片倉城跡公園

都指定文化財である片倉城の城跡と、周辺の自然環境の保全を目的とした公園。四季折々の花々  
が移り替わり咲くほか、カワセミ等の野鳥、ホタル  
等の昆虫など、多くの生物も見られます。

# チェック✔しました!

市長が提案した4年度当初予算は、予算等審査特別委員会で審査し、本会議で記名投票により原案のとおり可決しました。

2～9ページでは、予算審議の主な内容を掲載しています。

## 市長が提案した令和4年度予算

予算総額4,192億円のうち、

**一般会計は2,083億円** (前年度 2,209億円) ✔

税金の使い道は?



使い方は適正?

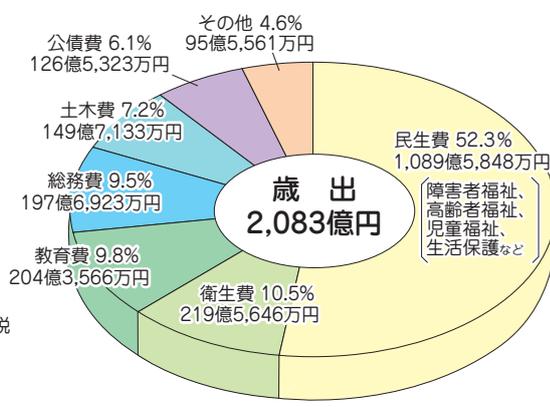
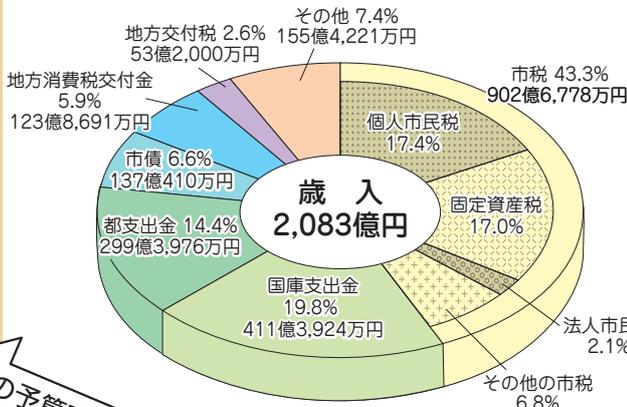


### 歳入の特徴

- ・ 個人所得や企業収益の回復による市税収入の増
- ・ 固定資産税等の軽減措置終了による地方特例交付金の減

### 歳出の特徴

- ・ 新たな館清掃工場の建設完了などによる投資的経費の減
- ・ 障害者自立支援給付の増などによる義務的経費の増



この財源が

こう使われる

この予算案を  
チェック!

### 令和4年度当初予算の規模

( ) は前年度

会計	当初予算額	増減額	増減率
一般	2,083億円 (2,209億円)	△126億円	△ 5.7%
特別 [8会計]	1,886億6,918万円 (1,968億20万円)	△81億3,102万円	△ 4.1%
公営企業 [1会計]	222億7,132万円 (222億5,830万円)	1,302万円	0.1%
合計	4,192億4,050万円 (4,399億5,850万円)	△207億1,800万円	△ 4.7%

# 令和4年度当初予算審議

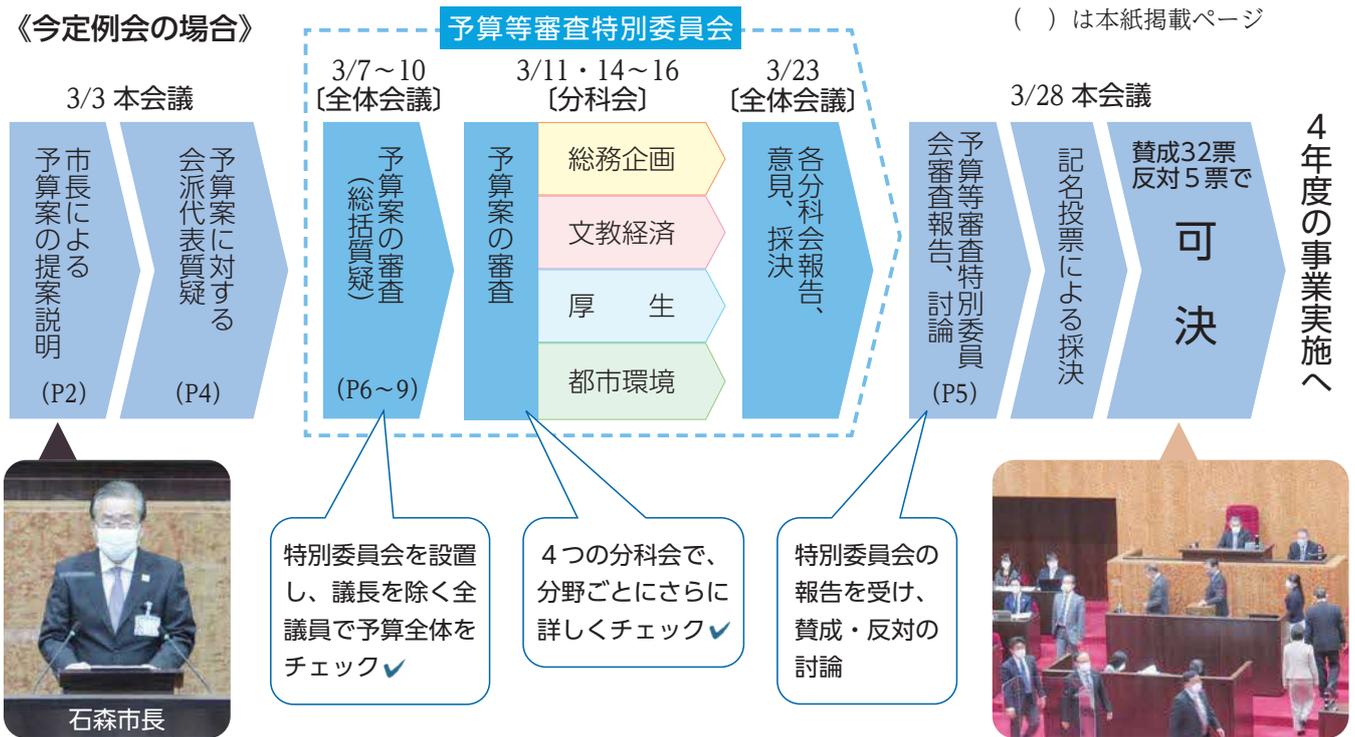
「夢と希望が持てる魅力あふれるまち」  
の実現へ

# 議会がしっかり

## 予算案が可決されるまで

市議会では、市長が提案した予算案について、「市民の税金がどのように使われるのか」「適正に使われるのか」などの観点で、しっかりチェックし、市に対してさまざまな質疑を行っています。ここでは、予算案が可決されるまでの流れを紹介します。

( ) は本紙掲載ページ



## 議員がチェック✓した、主な市の取り組みは

- 財政運営／行財政改革
- デジタル化の推進／政策立案機能の充実
- マイナンバー利活用促進
- 長期ビジョン策定／地域づくり推進事業
- 新型コロナ対策／保健所体制強化
- 避難行動要支援者のための個別避難計画
- 介護予防／健康寿命の延伸
- 子育て支援／児童虐待防止
- 子どもの生活実態調査
- 学習用端末の活用／学習支援システム
- 学童保育所と放課後子ども教室の一体型居場所づくりの推進
- 都立多摩産業交流センター（東京たま未来メッセ）の活用とMICE※の推進
- 中小企業支援／空き店舗活用
- 地球温暖化対策／再生可能エネルギーの普及
- 生ごみの減量・資源化／粗大ごみ収集
- 地域公共交通の充実／はちバス

主な質疑の内容は  
次のページから！





録画中継は  
←こちら

### 予算案に 対する

# 会派代表質疑

3月3日の本会議で、各会派が代表質疑を行いました。主な質疑の要旨を発言順に掲載しています。

#### 八王子市議会公明党



村松 徹



#### 高校生の医療費無料化は

**問** 都は、高校生の医療費無料化に取り組むとのことだが、市の考えは。

**答** 子どもの医療費助成制度は、重要であると認識している。都内の他区市町村と格差がない制度を導入できるように、都と協議を進めていく。

#### 利用しやすい「はちバス」に

**問** はちバス事業は、4年度でルート再編等の検討を予定している。アンケートによる市民ニーズの確かな把握や、自動運転などの新技術導入にも取り組んでもらいたいだろうか。

**答** 中長期的課題の解決に向け、市民に意向調査を行う予定である。さらに利用しやすくなるよう、新技術の導入の検討や、事業の見直しを進めていく。

#### 立憲民主・市民の会



小林 裕恵



#### 保健師の地区活動の充実を

**問** 新型コロナウイルス対応で、保健師の取り組むべき業務がひっ迫している。地域に出向き、対面で行う本来の活動ができる体制づくりが必要ではないか。

**答** 市民と地域の健康のさらなる向上には、幅広い知識等を備えた保健師の育成と、他職種と連携した地区活動が重要であることから、保健師の活動体制の強化を図っていく。

#### 地域ぐるみの獣害対策は

**問** 新たに行う地域ぐるみ獣害対策推進事業の目的について聞きたい。

**答** 獣害対策のより一層の推進のため、地域住民等と協働で実施・検証することで、地域に適した持続可能な防除体制の構築を目指していく。

#### 市民クラブ



星野 直美



#### 水環境の保全への啓発は

**問** 水環境の保全に向け、生物多様性や生態系の専門知識を有する職員により、市民に対し積極的に意識啓発できないか。

**答** 生物多様性の観点からの意識啓発は、自然環境への市民の理解向上に効果的である。専門知識を有する職員の育成や、積極的な情報発信に努めていく。

#### 制度の見直しで企業支援を

**問** 企業立地支援制度は、対象事業者を限定しているが、対象を拡大するなど、さらに活用しやすい制度にできないか。

**答** 本制度は、税収増の効果もある重要な施策である。今後、企業の立地や設備投資に、さらなる効果を発揮できるように、制度の検証を進めていく。

#### 日本共産党 八王子市議会議員団



望月 翔平



#### 費用負担増の影響を懸念

**問** 介護保険制度の変更に合わせて、市独自で行う認知症高齢者グループホーム利用者への補助も対象要件が厳格になったが、負担増となった方が介護サービスの利用をやめることがないようにするべきではないか。

**答** 現時点では利用に影響を及ぼす状況ではない。サービスが必要な方が地域で安心して暮らせるよう、事業を推進していく。

#### 生活保護のしおり見直しは

**問** 生活保護の窓口で使用するしおりは、申請をためらうような内容と感ずるが、見直しは。

**答** 申請者や受給者に寄り添い、権利の周知を含め、制度を活用できるように、全面改訂に向け取り組んでいく。

#### 自民党新国会



鈴木 玲央



#### ビジョンの達成に向けて

**問** 「八王子ビジョン2022」の計画期間の最終年度となる4年度予算の取り組みは。

**答** 総仕上げの4年度は、デジタル化やカーボンニュートラル※など、策定時になかった課題にも向き合い、夢と希望が持てる魅力あふれるまちの実現に、全力で取り組んでいく。

#### 放課後の居場所を一体的に

**問** 学童保育所と放課後の子ども教室の一体的な運用による居場所づくりへの考えを聞きたい。

**答** 学童保育所の福祉的側面と放課後子ども教室の教育的側面をいかにしながら、一体的に推進していくことで、子どもたちを豊かに育む放課後の居場所づくりを目指していく。

※カーボンニュートラル＝二酸化炭素など温室効果ガスの排出量と、森林などによる吸収量を均衡させること。

# 予算案に対し、こう考える

録画中継は  
こちら⇒



## 討論

3月28日の本会議で、4年度予算案の採決に先立ち、議員が賛成・反対の立場から討論を行いました。各議員の討論から、主な内容を掲載しています。

### 討論とは...

本会議で議案を採決する前に、議案に対し、賛成か反対かの意見を表明することです。会派を代表した議員に加え、会派に所属しない議員も意見を表明できます。

### 賛成

八王子市議会公明党  
富永 純子



#### 学生を力強く支援する制度を評価

新型コロナウイルス感染拡大による経済活動の停滞や、デジタル化推進等の課題を克服するために編成された予算と評価する。  
学園都市八王子として、新たに取り組みむ定住促進奨学金返還支援事業は、学生へのさらなる安定した学びの支援や、市内企業への就職促進など、双方の視点に立った画期的な施策である。持続可能な財政運営を見据えた長期ビジョンの策定に動き出している中、市民サービスのさらなる充実に向けた取り組みを要望し、本予算に賛成する。

### 賛成

自民党新政会  
梶原 幸子



#### 強い決意で地域活性化の推進を

社会状況の変化に対応し、時代に合った選択と集中を進め、「夢と希望が持てる魅力あふれるまち」の実現を目指した予算と評価する。また、限りある財源の中、次世代育成に向けた未来への投資も推進してほしい。  
未来に向けた新たなまちづくりに取り組むため、大型事業を進め、持続可能な都市空間の創出に期待する。そのためにも、時には大胆な発想で民間を活用し、強い決意で地域活性化に結び付く事業を推進することを要望し、本予算に賛成する。

### 賛成

立憲民主・市民の会  
森 喜彦



#### 将来を見据えたデジタル化推進を

コロナ禍で国の財政状況がさらに悪化している中、市債の減や基金残高の維持など、健全財政への取り組みを評価する。  
急速なデジタル化に対し、本市もさまざまなシステムを導入しているが、維持経費等の増加が予想される。費用対効果の検証や、国が進める各自治体で業務に使用するシステムの標準化にも取り組んでもらいたい。  
さまざまな変革が求められる中、目の前の利便ではなく、中長期的な視点で判断することを要望し、本予算に賛成する。

### 賛成

市民クラブ  
相澤 耕太



#### 子どもたちを守る施策に尽力を

通学路の安全対策において、既に市独自の手法も取り入れ、子どもへの交通事故の撲滅に取り組んでいることを評価する。年々増加傾向にある子どもへの虐待に対しては、子ども家庭支援センターの機能を充実させ、さらに重点的に取り組み、社会の宝・日本の希望である子どもたちを、事故や事件から守る施策に鋭意尽力してもらいたい。  
また、多様な施策を実行する際には、民間との連携を検討し、新たな展開も積極的に模索することを求め、本予算に賛成する。

### 反対

### 反対

諸派  
木田 彩



#### 子宮頸がんワクチンより検診を

諸派の賛成(2人)の討論はなく、反対(2人)のみがありました。

4年度に、HPV※感染を防ぐ子宮頸がんワクチン接種を再開するが、接種による被害の治療法も確立されておらず、被害者の増加になりかねない。接種を判断するための情報も不十分な状態で市民に通知せず、どのように感染するかなどの性教育の実施や、検診を受診する大切さを伝えるべきである。  
また、児童・生徒が使う学習用端末への学習支援システムの導入は、教育的効果や負の側面を考慮しておらず、問題であると指摘し、本予算に反対する。

### 反対

日本共産党  
八王子市議会議員団  
望月 翔平



#### 国保税値上げは中止すべき

コロナ禍においても、国民健康保険税の大幅な値上げが示されており、税の支払いが難しく、必要な医療を迅速に受けられない市民が増える危険性がある。  
市民に近い基礎自治体として、一般会計からの繰り入れを継続しながら、国等に財政措置を働き掛けることが必要であり、国保に加入する市民の困難を考慮し、値上げは中止すべきである。  
また、障害や介護の施設に係る補助金の引き下げは、利用者を窮地に立たせるもので認められず、本予算に反対する。

諸派＝会派に所属しない議員

※HPV(ヒトパピローマウイルス)＝性的接触のある女性であれば、50%以上が生涯で一度は感染するとされている一般的なウイルス。若い女性の罹患が増えている子宮頸がん等の発生に関係しており、小学校6年～高校1年相当の女子にワクチンの定期接種が行われている。

# 4年度予算案を審査しました



## どのように使う？ どのようにいかす？



予算等審査特別委員会の審査から

# 総括質疑



村松 徹 委員長



望月 翔平 副委員長

持続可能な財政運営に向け、長期ビジョンの策定を見据えた取り組みを構築する。

**問** 2040年の姿と施策展開を示す長期ビジョンを策定することになる4年度の予算編成の考えを聞きたい。

**答** 4年度は「八王子ビジョン2022」(現ビジョン)の最終年度と同時に、輝く未来への第一歩になると考えている。いまだ収束の見えない新型コロナから市民の命と暮らしを守ることを第一に考えつつ、急激な社会変化にもしっかり向き合う予算とした。

**問** 現ビジョンで未達成だった項目は、次の長期ビジョンにどのように反映していくのか。

**答** 現ビジョンの取り組み実績や、施策の効果を検証している。そこで得られた中長期的な課題は、2040年までの世界環境の変化も踏まえ捉え直し、長期ビジョンに反映していく。

**問** 社会情勢の変化に対応した行財政運営のためには、新たな技術や視点を取り入れる必要がある。民間事業者や大学等と共に創り出す「共創」に、新たな部署の設置も含め、積極的に取り組んでもらいたいだろうか。

**答** 策定する長期ビジョンでも未来を拓く原動力の一つとし

## 社会の変化に対応した行財政運営は

長期ビジョン特別委員会での調査・研究の経過について、委員長が議場で報告



市民とのワークショップ



市民とのワークショップや市議会からの提言なども受け、4年度に長期ビジョンを策定

て「共創」を掲げている。多様な主体がノウハウ等を共有し、課題解決の仕組みを共に創る担当の必要性は認識している。長期ビジョン推進のための組織改正も予定しており、本市ならではの「共創」の推進体制を考えていきたい。

**問** 八王子駅南口集いの拠点整備など、進行中の大型プロジェクトはしっかりと進めてもらいたい。財政面の影響が大きい大規模な投資事業をどのように捉え、今後の行財政運営を行うのか。

**答** 大規模な投資事業は、またの魅力を高め、にぎわいの創出による地域経済の活性化が期待できる。一方で、借入金などによる将来的な負担が生じることも考慮し、中長期的な財政状況を踏まえた事業選択を行うことや、社会経済状況の変化を捉えた見直しも必要と考えている。

データに基づく政策立案や、デジタル化による市民の利便性向上と業務の効率化を推進する。

## デジタル化の推進に向けて



行政に蓄積しているデータを活用し、客観的な証拠に基づき、政策立案することで、市民生活向上に向けたより良い施策展開を

**問** 新たなシステムを導入し、住民基本台帳などのデータを効率的に収集・分析することだが、どのようなことが可能となるのか。

**答** 幅広く活用可能な住民基本台帳のデータについて、職員が簡単に分析できる環境を整備するものである。中学校区などの小地域の人口推計や、転入・転出の状況を地図やグラフで見える化することができ、それを比較分析することで、地域特性に応じた政策立案が可能となる。

**問** 行政のデジタル化が一層進み、今後も新たなシステムの導入は増加すると考えるが、安全性や費用対効果等のチェック体制は。

**答** システム導入時には、費用対効果の確認や、情報セキュリティ対策の審査等を行っている。デジタル分野は変化や進展が速く、速やかな対応が必要であることから、新たなガイドラインを定めるなど、導入の際に整理すべき課題に対応している。



# 特別委員会を設置して令和

## 市民のお金



4年度予算案は、全議員（議長を除く）で構成する予算等審査特別委員会（村松徹委員長、望月翔平副委員長）に付託され、全体会議と分科会において慎重に審査しました。

ここでは、3月7日～10日の全体会議で行った総括質疑の主な質疑と答弁の要旨を掲載しています。



録画中継はこちら

**問** 地域経済活性化のため、地域課題をビジネス手法で解決につなげる担い手を支援する。

**答** ビジネス手法で本市の地域の具体例は、高齢者向けの配食サービスや、地域食堂を運営している団体等、社会性や地域性のある活動で、自立的な運営を行っている団体などがある。

**問** 都立多摩産業交流センターの開業に合わせ、MICE誘致を推進する。

**答** 文化財や観光資源をMICE会場として開放し、活用するための取り組みを聞きたい。

**答** 候補となる文化財等の管理者には、MICE会場としての利用効果について説明していく。また、利用に際し、制約がある場合には、八王子観光コンベンション協会とも連携し、協力が得られるよう進めていく。

**問** 4年度の開業に向け、センターを活用したイベントの企画検討の際に、中小企業等に意見を聴取したとのことだが、これを踏まえたイベントの計画は。

**答** 意見聴取の際に出た脱炭素等の社会課題解決の取り組みは、中小企業にとつて、新たなビジネスチャンスの分野であると考えている。これらを参考に、新分野への事業展開の機会創出につなげるためのイベントを計画していきたい。

### 地域経済活性化のため、担い手への支援は

**問** 経営基盤を強固にし、安定した活動を行うには、従来の制度融資では対応しきれないと考えるがどうか。

**答** 担い手は、資金面だけではなく、事務処理などの課題を抱えており、成長の段階に応じた支援が必要と考えている。制度融資とともに、さまざまな課題に対応できる中間支援組織に委託し、伴走支援を行うことで、担い手の成長につなげていく。

### MICE誘致のための取り組みを



開業後、さまざまなイベントの開催が予定されている都立多摩産業交流センター（東京たま未来メッセ）

### 学習用端末を活用した学びの充実は

学習用端末の活用を図るための学習支援システムのほか、英語力向上に向けたアプリを導入する。

**問** 児童・生徒一人一台の学習用端末のさらなる活用を図るため、学習支援システムを導入することだが、どのようなシステムか。

**答** 学習支援システムは、授業で端末を利用し、生徒同士の共同作業や、ドリル等の練習問題に取り組みめるなどの機能を有している。このシステムを利用することで、児童・生徒が意見を共有し、自身の考えをより深めることや、習熟度に合わせた学習ができるものと考えている。

**問** 結果が都立高校入試で活用される中学校英語スピーキングテストにも対応するため、4年度にスピーキングアプリを導入するが、その効果は。

**答** 生徒が自信を持って英語を話すためには、発話し、評価を受け、修正するという学習過程が大切である。本アプリの利用で、英語を話すことの技能習得に向け、生徒一人ひとりに合った学習を進めることができる。



学習支援システムのドリル型学習機能で授業の復習など家庭学習への活用も



予算等審査特別委員会を設置し、予算案を審査（委員会開会時）

学齢期の子どもがいる家庭の経済状況等を把握し、施策に反映させるため、実態調査を行う。

**問** 29年に行った子ども生活実態調査では、回収率が低いという課題が残った。本市の施策展開につながる大切な調査であり、多くの方に回答してもらう必要があるのではないか。

**答** 前回は調査票を学校で配付し、郵送で回収した。今回は回収も学校で行い、回収率向上に努めていく。また、調査の意義な

ショートステイの受け入れ年齢を拡大し、育児不安を抱えた保護者への対応を強化する。

**問** ショートステイの受け入れ年齢を、満1歳から生後3カ月に引き下げた理由は。

**答** 国の統計で、児童虐待による死亡の約50%が0歳児となっており、リスク回避のため、年齢を引き下げた。

**問** 本事業は、虐待防止につながる非常に意味のある施策であると考えられる。実施箇所や利用者枠を増やせないか。

**答** 実施箇所を増やすことは、虐待防止にもつながると考え

## ショートステイ(宿泊型一時保育)のサービス拡大は



保護者が一時的に子どもの面倒を見られない時に、子どもを宿泊で預かり、食事などの世話を行うショートステイ

ている。新たな事業者の確保は難しい状況であるが、課題を整理し、実施箇所を増やせるよう、取り組んでいく。

## 生活実態調査多くの回答で施策に反映を

どが、多くの方に伝わるよう、調査票や保護者宛の通知の表現方法を検討していく。

**問** 調査結果を速やかに施策に反映できないか。

**答** 調査の分析結果を広く施策に反映させるため、調査項目の検討から全庁が連携し、取り組んでいる。また、速やかに施策へ反映させるため、5年度の予算編成に間に合うように分析する予定であり、予算措置が不要な取り組みは、できる限り早く実施していきたいと考えている。

## 災害時等に自力で避難が困難な避難行動要支援者の避難支援の仕組みを構築する。

## 個別避難計画機動性を持つ仕組みに

**問** 当該事業において、はちまるサポート(旧地域福祉推進拠点)は、どのような役割を担うのか。

**答** はちまるサポートは、個別避難計画を対象外の要支援者の把握や、連携などを担っていく。地域との関係性をいかし、地域福祉の中心的な施設として、事業の推進を支援していく。

**問** 避難行動要支援者の避難支援の仕組みづくりのため、4〜7年度で個別避難計画を作成することである。機動性を持つ、しっかりとした仕組みとなるよう、全力で取り組んでみたいがどうか。

**答** 災害の発生時期が想定できない中、可能な限り早期に作成できるよう、既に関係団体等との調整も開始している。なるべく早い時期に支援体制が構築できるよう、引き続き仕組みづくりを進めていく。

「内閣府：災害対策基本法等の一部を改正する法律の概要」から(写真提供：別府市)



個別避難計画で要支援者ごとに避難を支援



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、総括質疑は、定足数の範囲内で人数制限を行い、他の議員は別室においてタブレット端末で視聴

### 🔍 総括質疑とは...

予算等審査特別委員会の全体会議において、会派ごとの持ち時間制で行う質疑のことです。

今定例会の総括質疑は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、出席議員の人数制限や会議時間を短縮して行いました。

**問** 事業を予定しているが、再生可能エネルギー(再エネ)の取り組みを聞きたい。

**答** 国が掲げた2030年の温室効果ガス削減目標との整合を図っていく。まずは、その目標に向け新たな施策を展開し、早期に達成できるよう努めていく。

**問** ゼロカーボンシティ宣言※2で掲げた、2050年までにカーボンニュートラルを実現するには、工程が重要と考える。計画の改定に当たり、中間目標をどのように設定するのか。

地球温暖化対策地域推進計画の改定など、ゼロカーボンシティに関する事業を実施する。

## ゼロカーボンシティの実現に向けて

**答** 太陽光発電等による再生エネの普及を図り、将来的には、災害での停電時などに独立して電力供給できるシステムの構築を考えている。また、地域の特色に沿った再生エネを最大限活用し、カーボンニュートラルの早期実現に取り組んでいきたい。



2月に行ったゼロカーボンシティ宣言に合わせ、環境に関する多くの事業を実施

**問** は、24年度にも行ったが、今回はどのように実施するのか。

**答** 前回は市内全域を対象としたが、今回は南大沢周辺地域を対象に、家庭から収集した生ごみを民間資源化施設の活用により、資源化する。効率的な回収方法や、

家庭の生ごみの資源化モデル事業を実施するほか、ごみ処理基本計画を改定する。

## ごみの資源化の推進は

**問** 市民の利便性等を検証し、継続的な実施に向け検討していく。

**答** プラスチック※1の資源化が努力義務になるほか、生ごみ・紙おむつも資源化への検討が必要となる。また、都が進めるごみ処理施設等の広域化への対応など、整備方針を定める必要があり、5年度までの2カ年で改定していく。

**問** ごみ処理基本計画の改定のポイントは。

**答** 新たな法施行により、製品

「はちバス」のルート再編などを検討するほか、交通空白地域の地域交通事業へ補助を行う。

## 地域公共交通のさらなる充実を

**問** 3カ所の地域交通事業への補助を行うが、市内には他にも公共交通を必要とする地域がある。利用者の予約に応じて運行するデマンド交通の導入が有効と考えるがどうか。

**答** 3カ所のうち、打越町旭ヶ丘団地では、デマンド方式による地域交通事業の実証運行に取り組んでいる。導入に当たっては、地域の需要や費用対効果の検証など、調査・研究を踏まえ、実践的な取り組みを進めていきたいと考えている。

**問** はちバスのルートを交通空白地域だけではなく、公共交通機関はあるが、運行本数の少ない交通不便地域にも拡大してはどうか。

**答** まずは、交通空白地域の解消に向け取り組むが、再編するルートが長くなることの影響と民間路線バスへの影響が少ない場合には、交通不便地域への対応も加味し、ルート選定していく。

**問** はちバスのルートを交通空白地域だけではなく、公共交通機関はあるが、運行本数の少ない交通不便地域にも拡大してはどうか。



さまざまな地域から、運行を望む声がある地域循環バス「はちバス」

※1 製品プラスチック=プラスチック製の文房具など、材質がプラスチックでも♻マークが付いていないもの。  
 ※2 ゼロカーボンシティ宣言=脱炭素社会に向け、2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指す旨を市長や自治体が表明すること。

# 令和4年 第1回定例会

## 本会議

緊急に本会議を開催し、  
全会一致で決議を可決

4年第一回定例会は、2月22日に開会し、本会議で議案や請願を審議し、4年度予算議案など市長提出議案62件と、議員提出議案3件を可決しました。

なお、議員提出議案の決議を審議するために3月9日に緊急で本会議を開催し、全会一致で可決しました。

議案の審議結果等は12、13ページへ

### 可決した主な付託省略議案

- 一般会計補正予算(第8号)の専決処分
- 給与及び公共料金特別会計補正予算(第6号)の専決処分
- 副市長の選任
- 農業委員会委員の任命(14件)
- 人権擁護委員の候補者の推薦
- 児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例の一部改正
- 消防団員等公務災害補償条例の一部改正
- 一般職員の特殊勤務手当支給に関する条例の一部改正

### 議員提出議案

議員提出議案は、決議1件を可決したほか、条例1件と意見書1件を審議し、可決しました。可決した決議と意見書は、市議会議長名で政府等に送付・提出しました。

### 可決した決議

■ ロシア連邦によるウクライナへの侵略に抗議し、ロシア軍の即時撤退を求める決議

ロシア連邦がウクライナへ侵略を開始し、多くの犠牲者を出している。この行為は、国際社会の平和と安全を著しく損なうものであり、核兵器による威嚇も許されない。本市は非核平和都市宣言で核兵器の廃絶等を明示している。よって、ロシア連邦の武力によるウクライナへの侵略を中止し、即時撤退と平和的解決を強く求めるもの。

関連記事は15ページへ

### 可決した条例

■ 市議会委員会条例の一部改正

市の執行体制の変更に伴い規定を整備

### 可決した意見書

■ デフリンピック東京開催を求める意見書

聴覚障害者の国際スポーツ大会であるデフリンピックの東京招致に向けた取り組みが始まっている。本大会の開催により、聴覚障害者への理解等が進み、共生社会の構築に寄与することが期待され、また、日本で初めての開催には、実績等から東京が最適と考える。よって、2025年デフリンピックを東京で開催することを要望するもの。

### 請願

請願1件を厚生委員会へ付託し、審査を行った後、3月28日の本会議で不採択としました。

### 不採択とした請願

○ 国民健康保険税の負担軽減を求める請願

主な内容は12ページ「厚生委員会」へ

## 委員会

### 常任委員会で付託議案を審査

本会議で付託された市長提出議案19件及び請願1件は、各委員会で慎重に審査を行いました。主な審査状況は次のとおりです。

### 総務企画委員会

開催日 2月24日

■ 一般会計補正予算(第9号)

歳入予算で地方交付税が33億7千万円の増額

問 コロナ禍の中、地方交付税が増額となった理由は。

答 国で税収の増額補正が行われた。地方交付税の財源となる国税が増加したことにより、地方への配分額も増額になったためである。

業務効率化のためのツールの導入経費を計上

問 市の業務に合ったシステムをゼロから開発する場合は、開発期間も長く、コストも高くなる。今回、全庁的に導入予定のローコード開発ツール※は、比較的簡単にシステムを作成できる仕組みであるが、本市での活用事例はあるのか。

答 住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金において、対象者抽出の際にローコード開発ツールを使用した実績がある。導入後のシステム作成は各所管で行うため、本市のデジタル化を推進する所管が技術面をサポートする形で、有効に活用していきたい。

簡易型避難テントの追加配備に要する経費を増額

問 簡易型避難テントを追加購入することだが、避難所への配備をどのように考えているのか。

答 全体計画は2千100張であり、今回の補正では、当初予算で購入済みのテントを除いた1千650張分を計上している。指定避難所135カ所すべてに配備するほか、自宅療養しているコロナ感染者用の避難所2カ所にも配備し、その他は予備として災害時に適宜配備する対応を考えている。

結果 可決すべきものと決定



避難所内の感染症拡大防止やプライバシー確保に役立つ簡易型避難テント

※ローコード開発ツールはシステムやアプリ開発を少ないプログラミングで構築する手法。

文教経済委員会

開催日 2月24日

■一般会計補正予算(第9号)

キャッシュレス決済で飲食店等を支援

問 キャッシュレス決済によりポイントが還元される利用者は、八王子市民に限っていないことである。市民がどの程度利用するのも把握せず、税金を投入することは問題であると考えらるがどうか。

答 本事業は、あくまで新型コロナウイルスの影響を受けた飲食店等の支援であり、市民へのポイント還元が目的ではない。そのため、市外居住者による消費を喚起することも目的になっていることを理解願いたい。

問 本事業の実施期間が7月と12月とのことだが、この期間に設定する理由は。

答 両月ともボーナス支給期であることから、日常的な消費に上乘せが期待でき、消費を喚起する追加効果があると考えたためである。

国補助の追加により学校施設の改修費を増額

問 今回の補正で、小・中学校トイレの改修工事を行う



改修工事によって整備された学校トイレ(高嶺小学校)

このことだが、改修の実施方針について聞きたい。

答 今回の補正で行う学校も含め、改修の対象を築30年以上経過した学校とし、実施してきた。今後は、築30年にとらわれず、早期の洋式化を図るために、便器のみの改修も実施していく考えである。

避難所となる学校施設の空調機設置を予算化

問 災害時の避難所となる学校体育館に空調機を設置することだが、台風シーズンに合うのか。

答 まず最初に、学校の夏休み中に体育館の断熱工事を行い、その後、秋に体育館を使用する学芸会などの行事終了後に、空調機設置の工事を予定している。このため台風シーズン

に間に合わせることは難しいと考えている。

全市民センター図書館に図書消毒機を導入

問 導入する消毒機は、図書に紫外線を当て、除菌を行うことである。日本図書館協会は、紫外線での消毒は紙の劣化の悪影響があると発表しているが、問題はないのか。

答 協会の見解は、図書館職員全員が承知している。現在、同様の消毒機を他の図書館で導入しているが、郷土資料など貴重な図書には消毒機を使わず、主に貸し出しを行っている一般図書や絵本、児童図書に使うことにしている。

結果 可決すべきものと決定

都市環境委員会

開催日 2月25日

■一般会計補正予算(第9号)

通学路の危険箇所へ安全対策を講じる経費を増額

問 今回対策を講じるのは、八街市で起きた通学路での事故を受け、実施した合同点検で抽出した危険箇所である。この合同点検と、これまでの通学路点検との違いは。



合同点検で抽出した危険箇所に、路面標示や滑り止めカラー舗装を施し、より安全な通学路に

答 国の通知により、通学路の点検項目に、幹線道路の抜け道になっていて車の速度が上がりやすい場所等が追加され、危険箇所該当する場所が増えた。今回、そのすべてを点検し、市道については85カ所に対策を講じることとした。

問 道路管理者として、市が速やかに行うことができる安全対策は。

答 路側帯や交差点にカラー舗装を施すほか、注意喚起の路面標示や看板設置などを行っている。

建設中の新たな館清掃工場の整備費を増額

問 コロナ禍の影響により、計画当初の見通しと比べ、ごみ排出量に変化があると考えらるが、今後の新工場の運営に影

響はないのか。

答 コロナ禍により家庭系ごみが増加したが、事業系ごみが減少し、全体として排出量は微減となっており、現時点では影響はない状況である。

旧八王子医療刑務所官舎等の解体工事費を予算化

問 八王子駅南口集いの拠点整備に向けた官舎等の解体工事、国の補助金が交付されるため、前倒しで予算化することだが、工事の日程は。

答 今回の解体工事は、事業費を繰り越して4年度に開始し、年度中に完了する予定である。

結果 可決すべきものと決定

■市道路線の認定

都から移管を受ける旧都道を市道に認定

問 今回、移管される道路の中には、路側帯が狭く歩行者にとって危険な道路がある。移管後、対策が必要になると考えるがどうか。

答 都が一定の補修を行った後に移管を受けるが、安全対策については、市道として可能な範囲で取り組んでいきたいと考えている。

結果 可決すべきものと決定

厚生委員会

開催日 2月25日

■一般会計補正予算(第9号)

小児(5~11歳)のコロナワクチン接種経費を増額

**問** 今回補正する新型コロナワクチンの接種対象者が、5歳から11歳の子どものことだが、接種の目的は。

**答** 12歳以上と同様に、新型コロナウイルスの重症化予防や発症予防のためである。

**問** 子どもに接種を受けさせるかを保護者が判断する際に、ワクチンのリスクなどの必要な情報を、市がしっかりと提供すべきと考えるがどうか。

**答** 小児接種における治験データや、ワクチンの効果・安全性を記載した国のリーフレットを接種券に同封し、お知らせしている。なお、準備段階で、リーフレットに記載された安全性などの内容を、医師会小児科部会と協議しており、了解を得た上で同封した。

がん検診の受診者増により委託料を増額

**問** 各種がん検診において、補正後の検診受診者数の見込みが、10%程度増えているが、その要因は。

**答** 2年度の受診者が減少したこと、3年度は受診者数減を見込んだ予算とした。しかしながら、今までに行った検診対象者への勧奨はがきの郵送などにより、受診者数が元年度と同程度に戻ってきたことから、委託料を増額とした。

**結果** 可決すべきものと決定

開催日 3月16日

◎請願

■国民健康保険税の負担軽減を求める請願

独自施策を講じ、早急に子どもへの国保税の軽減を

新型コロナウイルスの影響で、国民健康保険(国保)の加入者の生活は厳しくなっており、国保税の負担が加入世帯の生活を苦しめ

ている。このため、全国知事会は、国に対して国保の財源補助を要請している。

よって、市においても「4月からの国保税の値上げを行わないこと」、「公費の投入増を行い、国保税を引き下げするための財政支援の呼びかけを、国や都に対して行うこと」、「子どもの国保税のさらなる負担軽減のため、市独自の施策を早急に講じること」を求めるもの。

**問** 対象年齢や軽減割合の拡大は、国の責任で実施すべきとのことだが、市としては、国保税を値上げせずに努力している姿勢を国や都に訴えて、財政支援を求めることが本来の役割ではないか。

**答** 都に対し、これまでも財政支援などを求めている。他の道府県と比べると、東京都の特殊性もあることから、今後も、引き続き要望していきたいと考えている。

**問** 加入者の急激な負担増を避けるため、本市の一般会計から補填を行っているほか、加入者の約55%の方が、均等割の軽減措置を受けているとのことである。軽減措置分も税金で補填しているのか。

**答** 軽減措置分も税金で補填している状況である。結果 不採択とすべきものと決定

令和4年(2022年) 第1回定例会		議案等の審議結果一覧							結果
		会派の賛否							
		付託委員会	自民党	公明党	市民ク	共産党	立憲民	諸派	
議員提出議案 3件		付託委員会	13人	10人	4人	3人	3人	4人	
決議	ロシア連邦によるウクライナへの侵略に抗議し、ロシア軍の即時撤退を求める決議	—	○	○8欠2	○	○	○	○	可決
意見書	デフリンピック東京開催を求める意見書	—	○	○	○	○	○	○	可決
条例(主な内容)	市議会委員会条例の一部改正(市の執行体制の変更に伴い、規定を整備)	—	○	○	○	○	○	○	可決
市長提出議案 62件		付託委員会	自民党	公明党	市民ク	共産党	立憲民	諸派	結果
専決処分	一般会計補正予算(第8号)の専決処分	—	○	○	○	○	○	○	承認
	給与及び公共料金特別会計補正予算(第6号)の専決処分								
人事	副市長の選任(木内基容子氏)	—	○	○	○	○	○	○	同意
	人権擁護委員の候補者の推薦(尾寄敏夫氏)								
	農業委員会委員の任命(有竹満次氏、熊澤治彦氏、中西伸夫氏、菱山史郎氏、米津元一氏、坂本真一氏、田中政博氏、澤井博氏、菱山まり子氏、原島元義氏、峰尾幸代氏)								
	農業委員会委員の任命(小林裕恵氏、馬場貴大氏、美濃部弥生氏)								
3年度補正予算	一般会計補正予算(第9号)	全	○	○	○	×	○2欠1	○2X2	可決
	国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	総・厚	○	○	○	○	○2欠1	○	可決
	後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)								
	介護保険特別会計補正予算(第2号)								
	土地取得事業特別会計補正予算(第1号)								
	借入金管理特別会計補正予算(第2号)								
	給与及び公共料金特別会計補正予算(第7号)								
駐車場事業特別会計補正予算(第1号)									
下水道事業会計補正予算(第1号)	都								

▶次ページに続く

市長提出議案 (続き)		付託 委員会	会派の賛否						結果										
			自民党	公明党	市民ク	共産党	立憲民	諸 派											
条例 (主な内容)	個人情報保護条例の一部改正 (個人情報保護に関する法律の一本化に伴い、規定を整備)	—	○	○	○	○	○	○	○	可決									
	児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例の一部改正 (省令改正に伴い、母子生活支援施設の長に任用できる者の基準を改正)																		
	指定障害児通所支援の事業等の人員、設備及び運営の基準に関する条例の一部改正 (法改正に伴い、条例で引用する条項を改正)																		
	消防団員等公務災害補償条例の一部改正 (法改正に伴い、消防団員の損害補償を受ける権利に関する規定を改正)																		
	一般職員の特殊勤務手当支給に関する条例の一部改正 (新型コロナウイルスに関する特殊勤務手当の支給期間を延長)																		
	職員の服務の宣誓に関する条例の一部改正 (新たに職員となった者の服務の宣誓における署名・押印等の規定を改正)																		
	職員団体の登録に関する条例の一部改正 (職員団体の登録に係る申請書についての規定を明確化)																		
	手数料条例の一部改正 (法改正に伴い、住民票等の写し交付手数料に関する規定を改正)																		
	指定障害者支援施設の人員、設備及び運営の基準に関する条例の一部改正 (省令改正に伴い、指定障害者支援施設の指定基準に関する経過措置を規定)										厚	○	○	○	○	○2欠1	○	可決	
	児童保育所条例の一部改正 (横山学童保育所を横山第二小の余裕教室に移転)										文	○	○	○	○	○	○	○	○
	都市公園条例の一部改正 (上柚木公園野球場に導入したスピードガンの使用料を規定)																		
	姫木平自然の家条例の廃止 (姫木平自然の家を長野県長和町に譲渡するため、条例を廃止)																		
契約	ファイリングキャビネット等の取得	厚	○	○	○	○	○2欠1	○	可決										
その他	東京都後期高齢者医療広域連合規約の変更	厚	○	○	○	○	○2欠1	○	可決										
	市道路線の認定	都	○	○	○	○	○2欠1	○	可決										
4年度 予算	一般会計予算	予	○	○	○	×	○	○2×2	○	可決									
	国民健康保険事業特別会計予算																		
	後期高齢者医療特別会計予算																		
	介護保険特別会計予算																		
	母子・父子福祉資金特別会計予算																		
	土地取得事業特別会計予算																		
	駐車場事業特別会計予算																		
	借入金管理特別会計予算																		
	給与及び公共料金特別会計予算																		
	下水道事業会計予算																		
4年度 予算 関連 [条例]	組織条例の一部改正 (市の健康危機管理体制の構築のため、医療保険部と健康部を統合)	予	○	○	○	×	○	○2×2	○	可決									
	一般職の任期付職員の採用に関する条例の一部改正 (高度の専門的な知識経験等を有する者の採用及び給与に関する規定を整備)																		
	職員の育児休業等に関する条例の一部改正 (非常勤職員の育児休業等の取得要件を緩和)																		
	職員退職手当支給に関する条例の一部改正 (都に準拠し、退職手当の基本額に係る特例を新設)																		
	ふるさと納税八王子応援基金条例の一部改正 (基金の設置目的に、企業版ふるさと納税による寄附金の活用を追加)																		
	消防団に関する条例の一部改正 (消防団員の処遇改善のため、出勤手当を報酬化)																		
	保健所条例の一部改正 (保健所を都立多摩産業交流センター内へ移転するため、所在地を変更)																		
	国民健康保険条例の一部改正 (法改正に伴い、未就学児の被保険者均等割額を減額)																		
	廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例の一部改正 (粗大ごみの処理手数料の支払いにオンライン決済を導入)																		
	[その他]										包括外部監査契約の締結								
請 願 1 件		付託 委員会	自民党	公明党	市民ク	共産党	立憲民	諸 派	結果										
件名	国民健康保険税の負担軽減を求める請願 <sup>※2</sup>	厚	×	×	×	○	×	○3×1	不採択										

○：賛成 ×：反対 除：地方自治法により採決時に除斥（退席） 欠：本会議を欠席

<会派名>

自民党：自民党新政会      公明党：八王子市議会公明党      市民ク：市民クラブ  
共産党：日本共産党八王子市議会議員団      立憲民：立憲民主・市民の会      諸 派：会派に所属しない議員

<付託委員会>

総：総務企画委員会      文：文教経済委員会      厚：厚生委員会      都：都市環境委員会  
全：4常任委員会（総・文・厚・都）      予：予算等審査特別委員会      一：付託せず

※1 議長を除く

※2 決議・意見書・請願の全文はこちら⇒



# 議会活動レポート

市議会では議案審議や一般質問以外にも、さまざまな活動を行っています。ここでは、各委員会がテーマを決め調査する所管事務調査など、主な活動をお知らせします。

## 総務企画委員会

所管事務調査テーマ  
ポストコロナを見据えた危機管理の在り方

- 2/10【調】勉強会「ICTを活用した防災機器」  
(説明者：(株)エイビット)  
④勉強会を踏まえた今後の調査内容
- 2/24【調】今後の行政視察の検討
- 3/14【報】4年度の市の執行体制 など



## 文教経済委員会

所管事務調査テーマ  
児童生徒の登校支援～マンパワーとICTの活用～

- 1/24【調】オンライン視察（静岡市）  
「総合的な不登校対策」
- 2/10【報】通学路合同点検の実施結果 など
- 2/24【調】④提言に向けた具体的施策 など
- 3/14【報】4年度の市の執行体制



## 厚生委員会

所管事務調査テーマ  
幼少期における発達障害の現状・その相談支援体制/  
こども基本条例に関する調査・研究

- 1/25【調】④今後の調査手順 など
- 2/14・25、3/15・28  
【調】④こども基本条例案要綱の策定、  
市民意見の集約方法 など
- 3/16【調】④市民意見の集約方法



## 都市環境委員会

所管事務調査テーマ 水のまちづくり

- 1/26【調】オンライン視察（岡山市）  
「旭川かわまちづくり計画」 など
- 【調】視察（台東区）  
「隅田公園オープンカフェ」 など
- 2/14・25、3/16  
【調】④今後の調査予定・活動予定 など
- 3/25【調】視察（川崎市）「多摩川見晴らし公園」



## 長期ビジョン 特別委員会

(付議事項：長期ビジョンに関する調査・研究)

- 1/14・31、2/16  
④長期ビジョン（素案）への提言内容
- 3/4 調査・研究経過を本会議で委員長が報告  
提言書を議長に提出

④詳しくは15ページへ

## ICT導入 検証会議

- 1/27 第1回定例会に向けた改善点の確認  
最終報告に向けた協議
- 3/8 最終報告に向けた協議 など  
最終報告書を議長に提出

④詳しくは15ページへ

# 市議会トピックス

## 市の新たな長期ビジョンへ 市議会から提言

市議会では、3年9月に長期ビジョン特別委員会を設置し、市で策定を進めている新たな基本計画（長期ビジョン）である「(仮称)はちおうじ未来デザイン2040」に関する調査・研究を行ってきました。

これまで6回の委員会で議論を重ね、意見を取りまとめ、3月4日に市議会からの提言書として議長から市長へ提出しました。



市長へ提言書を提出（吉本議長、中島副議長、浜中委員長）

## 「(仮称)はちおうじ未来デザイン2040」への 市議会からの提言（主な内容）

- ☆すべての市民が未来の八王子をイメージできるよう、視覚的効果を取り入れるなど表現に工夫
- ☆地域自治・共創を担う人財を確保・育成していく「人づくり」の視点を大切に
- ☆人口減少や税収減などの課題を市民と共有した上で、子どもたちや若い世代が未来の八王子へ期待を抱ける内容に

提言はこちら↓



## 市議会協議会を オンラインで開催

市議会では、コロナ禍をはじめとした参集困難な非常時でも、議会機能を維持するため、オンライン会議についての検討を行っています。

その取り組みの一環として、2月15日に、全議員が出席し、市や議員から説明・報告等を受ける市議会協議会を、タブレット端末を活用してオンラインで開催しました。



正副議長、報告を行う議員のみ会議室で出席し、他の議員や市長等は、各々の場所から出席

ロシア連邦によるウクライナの侵略に対し、平和的解決に取り組むことを求めるよう、早急に市議会としての意思を示す必要があることから、3月9日に緊急で本会議を開催しました。

## ウクライナ侵略に対する決議 のため緊急に本会議を開催

### 人道支援のため 義援金を送付

戦闘により多くの市民の死傷者が報告され、市民生活に不可欠なインフラにも被害が出ているウクライナへの人道支援のため、議員全員で組織する市議会議員団（福安徹団長）は、3月9日に義援金として10万円を、在日ウクライナ大使館へ送付しました。

### ICT導入検証会議が 最終報告書を提出

議会のICT化推進として、3年9月に「クラウド型情報共有会議システム」と「タブレット端末」を導入し、3月までを試行期間と位置付け、実際に会議で使用しての検証と改善案を、ICT導入検証会議にて協議してきました。

レス化や会議への端末の持ち込みのルール、災害時・防災への活用のほか、端末の有効活用に向けた課題等を整理した検討結果を、3月8日に最終報告書として議長へ提出しました。

今後、継続協議とした案件については、引き続き協議していきます。

会議の経過等は  
こちら↓



鈴木座長から吉本議長へ最終報告書を提出

## 次回の定例会の主な予定

令和4年(2022年) **第2回定例会** 会期：6/8～6/24

日	月	火	水	木	金	土
			6/1	2	3	4
			招集告示日		議会運営委	
5	6	7	8 開会日 議会運営委	9	10	11
			← 本会議(ネット) (一般質問) →			
12	13	14	15	16	17	18
	本会議(ネット) (一般質問)	議会運営委 本会議(ネット) (議案審議等)	総務企画委 文教経済委	厚生委 都市環境委		
19	20	21	22	23	24 最終日	
		議会運営委			本会議(ネット) (採決等)	

委：委員会 ネット：市議会ホームページで中継

- 会議（議会運営委を除く）は、10時から開会します。
- 閉会中の議会日程は、市議会ホームページをご覧ください。
- 問い合わせ：議事課



「ひびき」の表紙を飾る写真を募集しています。採用者には、議長からの感謝状を贈ります。皆さまからのご応募お待ちしております。

### ◎募集内容

夏をイメージし、市内で撮影した行事・風景・まちなみ・自然など、第2回定例会号(8月1日発行予定)の表紙にふさわしい写真(写真の縦・横は問いません)

### ◎締切

6月30日(木)

問い合わせ：庶務調査課



応募方法はこちら→

## 議場コンサートのお知らせ

2月22日に予定していた議場コンサートは新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、開催を中止しました。

今回は、6月8日を予定していますが、今後の状況により開催を見合わせる可能性がありますので、最新の情報は市議会ホームページでご確認ください。

議場コンサートの最新情報はこちら→



## 政治家の寄附は禁止

### 有権者が求めることも禁止



お中元・お歳暮



病気見舞い



落成式・開店祝いの花輪

これらの行為はすべて禁止です!



運動会・スポーツ大会への飲食物の差し入れ



結婚祝い・香典 (本人が出席する場合を除く)

## 市議会からのお知らせ

### 詳しくは会議録で

本会議や各委員会の発言を掲載した「会議録」や「委員会記録」は、市立図書館等のほか、市議会ホームページでも閲覧できます。なお、4年第1回定例会の本会議の会議録は、5月下旬に完成予定です。

会議録はこちら↓



●会議の様子はホームページで本会議などの模様は、市議会ホームページで生中継するほか、おおむね7日後から録画を配信します。

会議の様子ははこちら↓



●点字版市議会だより等を発行目の不自由な方のために、点字版・音声版の市議会だよりを作成し、ご希望の方に郵送しています。希望する場合は、庶務調査課にご連絡ください。

### 掲載内容についてのご意見

本紙へのご意見は、庶務調査課にお寄せください。市議会ホームページでは、アンケートも実施しています。

アンケートはこちら↓



※昨年の第1回定例会と同様、自粛により一般質問は実施しませんでした。

